



—空手発祥の地・沖縄—

沖縄空手会館の概要



【目的】 沖縄空手会館は、沖縄伝統空手・古武道を独自の文化遺産として保存・継承・発展させ、「空手発祥の地・沖縄」を国内外に発信するための拠点として整備した施設です。

【施設概要】

- 所在地 : 沖縄県 豊見城市宇豊見城854番地1 (豊見城城址公園跡地内)
- 敷地面積 : 約3.8ヘクタール
- 主要用途 : 空手道場および展示施設
- 延床面積 : 約7,810㎡

道場施設	5,917㎡
展示施設	1,803㎡
特別道場	91㎡
- 建物構造 : 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
- 建物階数 : 地上1階 一部(電気室等)2階
- 開館時期 : 平成29年3月4日



沖縄空手会館 那覇空港や県立武道館からのアクセス

関連施設から沖縄空手会館へのアクセス





沖縄空手会館を構成する3つの建物

道場施設



特別道場(守禮之館)



展示施設

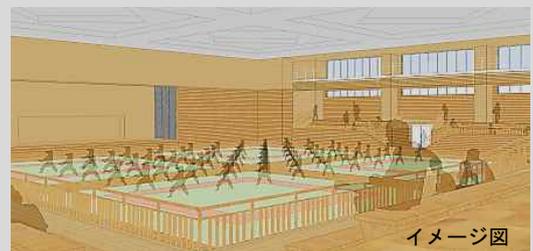


道場施設

■道場



世界の空手家が利用する
空手道場



イメージ図

■研修室



■鍛錬室



展示施設

■展示エリア・エントランス



■シンボルディスプレイ



■映像シアター



■展示コーナー



特別道場（守禮之館）



■特別道場からの眺望



セルラースタジアム
(奥武山公園内)

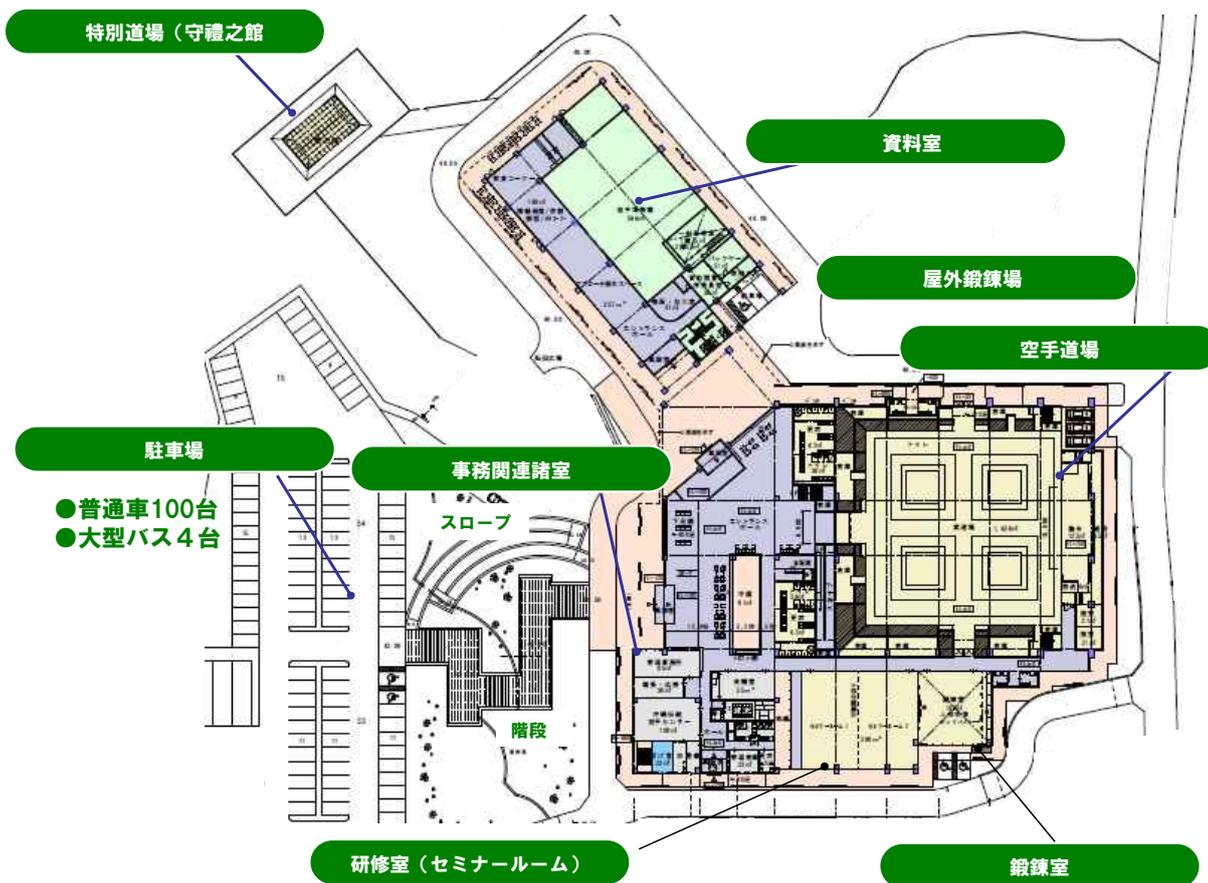
県立武道館
(奥武山公園内)

沖縄県庁





沖縄空手会館—平面図



施設の主な構成要素

道場施設

空手道場

- 沖縄伝統空手・古武道を稽古するための練習場（競技コート4面）
- 空手の大会やイベントなども実施（客席数380席）
- 空手以外の各種イベントの会場としても活用

鍛錬室

- 伝統的な空手の鍛錬やトレーニングを目的とした部屋
- 空手の鍛錬具なども保管し、少人数の空手プログラムにも利用

研修室（セミナールーム）

- 沖縄伝統空手・古武道に関連するセミナーなどの座学、空手関係者の集会や会議などに対応
- 空手の稽古や体験プログラムにも対応
- 空手以外の使用にも柔軟に貸し出し、広く県民の文化活動などに活用

展示施設

資料室

- 沖縄伝統空手・古武道に関する展示施設
- 空手家を対象とした専門的な情報から、初心者向け、一般向けのコンテンツまで来館者に応じて多様に計画
- 観光客が気軽に楽しめるエンターテインメント性を備えた施設

物販・飲食スペース

- 情報検索や休憩コーナー、物販・飲食テナント施設などで構成
- 空手家から一般観光客まで、幅広い沖縄空手会館の利用者へのサービス提供施設

その他施設

特別道場

- 空手の発祥地であることを顕示するシンボル施設
- 一般の利用とは区別し、高段者の昇段試験や空手の日等の演武など限定した利用により、尊厳性を高める施設